

古臭い施設で新人が 超 したい介護を実現する現実的な方法

【Action1: 忍耐強く待つ】

古臭い施設でいい介護がしたいなら、まずは待つこと。
僕は最低2年、じっくり待つ必要があると思う。
その間にあなたがすべきことは『誰よりも一生懸命働く』ただそれだけ。
最近は一生涯懸命がすごく貴重な時代。
「あの子いつも一生懸命だよね！」休憩室でそう囁かれるまで待つ。
そうすれば、あなたは2年後にはみんなから信頼される存在になっている。
「いい介護がしたいんです！」あなたの声に、みんなが耳を傾けてくれるようになる。
ベテランになるほど、現状を変えることに抵抗感を示すもの。
それは仕方ない。人は安定した現状を守ろうとするから。
でも、信頼できる人からの声なら必ず届く。まずは忍耐強く待とう。

【Action2: ダメな介護もちゃんとやる】

想いのあるあなたは、古臭い介護のダメな部分がよく目につくと思う。
「あれもこれもダメ！」うん、その思考でいい。ダメなものはダメなんだから。
でも、あなたはそのダメな介護も手に取るようにできるようにならないとダメだ。
「この介護はダメだから私はしない」それだといつまでたっても
みんなの一員になれず、いつか孤立し、見放される。
最低レベルのダメ介護だとしても、お年寄りはそのなかを生きてきたんだ。
あなたがいない間も、現場はその介護でお年寄りを守り続けてきたんだ。
それを正面から受け止め、自分のものにしよう。
いい介護ができる人は、ダメな介護もちゃんとできたうえで
「いい介護」を選択できる人のことなんだ。

【Action3: 職場長を支える】

主任とかリーダーとか施設により呼び名は様々だけど、
現場は職場長がつくるもの。
職場長の想いがあり、それを実現するためにみんながいる。
あなたも、職場長の想いを支える一員なんだ。
あなたがしたい介護をするのは大切だけど、それより先にすべきなのは
職場長がしたい介護を支えること。
「あなたには、何が求められている？」
それを自覚しながら(直接言葉で聞きながら)働こう。
したい介護があるのは、あなただけじゃない。

【Action4: 職場長を変える】

いよいよ最終段階。さいごは職場長を変えよう。
これは職場長をやめさせ、あなたが天下をとるって意味じゃない。
職場長の『介護への考え方を変える』って意味。

いまの介護(現場)は職場長がつくったもの。
職場長の考え方が、ありのまま反映されている。
現場を変えたいなら、職場長の介護への考え方を変える必要があるんだ。

といっても、人は自ら「変わりたい」と思わなければ変わらない生き物。
だれかが恫喝しても懇願しても、職場長自身が変わりたいと思えていなければ、結局本質はそのまま。現場は通常運転。
職場長の心を動かせるのは、どっかの偉い先生？立派な本？
それを待っててもいいけど.....ここでは現実的な話をするね。
あなたなんだ。
職場長の心を動かせるのは、一緒に働くあなただからできることなんだよ。

別に難しい話じゃない。
あなたは、それだけの下積みをPoint1~3でしてきたんだ。
あなたはみんなから信頼され、頼りになり、職場長にとっても心強い存在。
そんなあなたが正面から想いを伝えれば、きっと職場長は向き合ってくれるよ。

むしろ、もうすでに職場長は変わってきているかもしれない。
だって、あなたは誰よりも介護をがんばってきたんだ。
その姿を身近で見ていて、影響を受けないわけがない。
ほんの小さい変化かもしれないけど、**人も組織も、1人の影響で変わるんだよ。**

ここまで読んでくれて本当にありがとう。
相応の時間はかかるけど、あなたがしたい介護は必ず実現するよ。
あなたと一緒に働きたい仲間は、これからもどんどん増える。
あなたは1人じゃないんだ。応援してる！

介護老人保健施設
ケアセンターゆうゆう
安藤祐介

静岡県焼津市田尻4
Tel:054-625-0321
Fax:054-625-0322

安藤
かなりリアルなやつです！